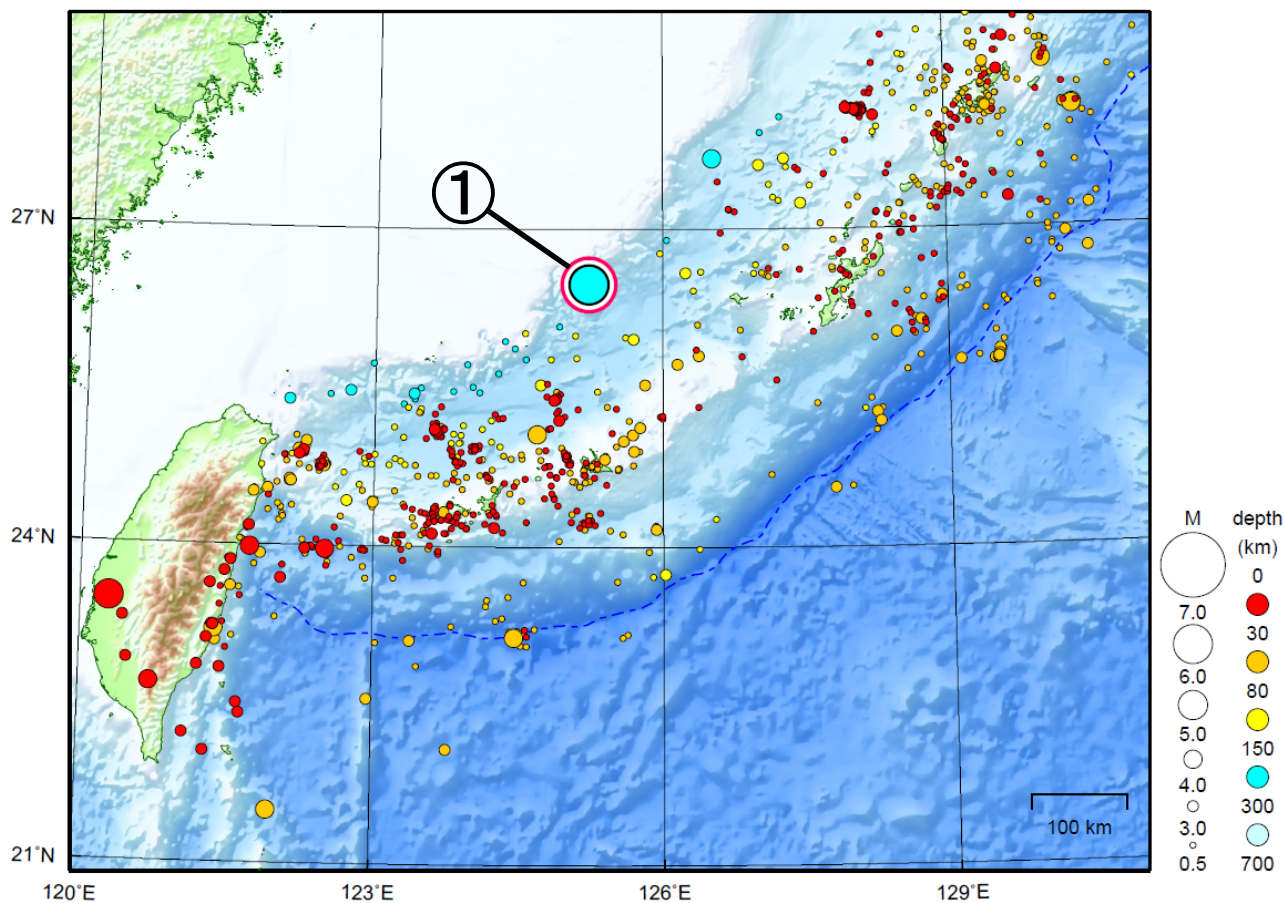


沖縄地方

2023/09/01 00:00 ~ 2023/09/30 24:00

N=1183



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

- ① 9月18日に宮古島北西沖でM6.5の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

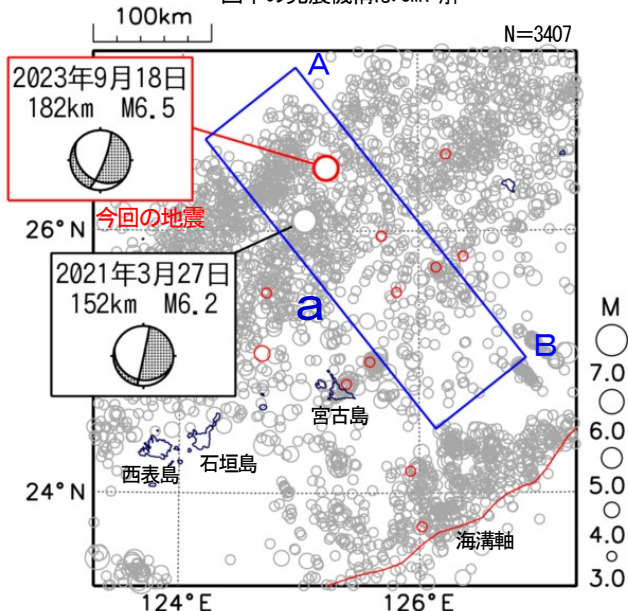
9月18日 宮古島北西沖の地震

震央分布図

(2000年7月1日～2023年9月30日、
深さ50km～250km、 $M \geq 3.0$)

2023年9月の地震を赤色で表示

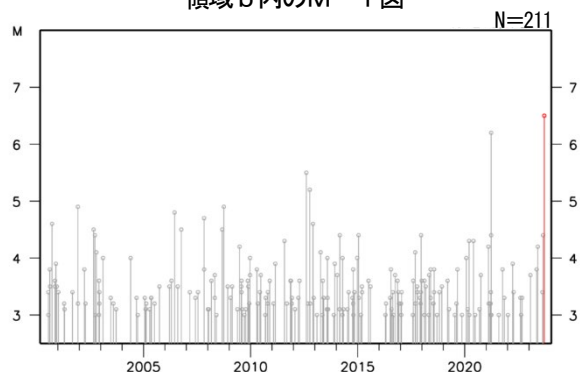
図中の発震機構はCMT解



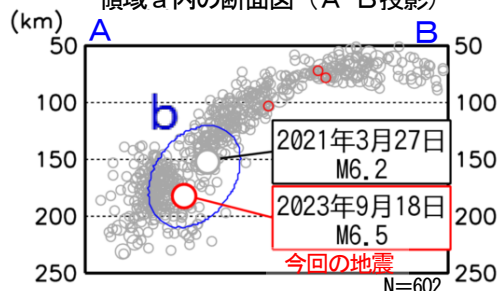
2023年9月18日22時21分に宮古島北西沖の深さ182kmで $M6.5$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、フィリピン海プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M6.0$ 以上の地震が今回の地震を含めて2回発生しており、もう一つは2021年3月27日に $M6.2$ の地震（最大震度2）が発生している。

領域b内のM-T図



領域a内の断面図（A-B投影）

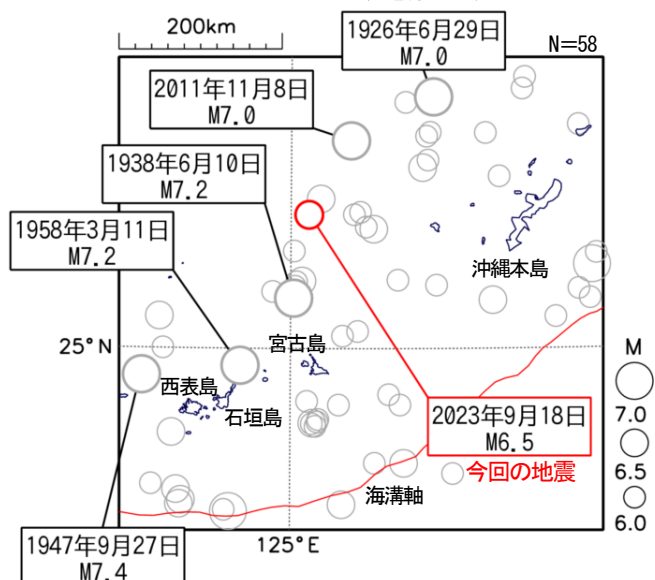


1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、過去に $M6.0$ 以上の地震が時々発生しており、1938年6月10日に $M7.2$ の地震（最大震度4）が発生し、宮古島平良港で1.5m程度の津波が目撃されており、栈橋の流出などの被害があった。また、1958年3月11日に $M7.2$ の地震（最大震度5）が発生し、先島諸島で死者2人、負傷者4人のほか家屋損壊などの被害が生じた（被害は、「日本被害地震総覧」による）。

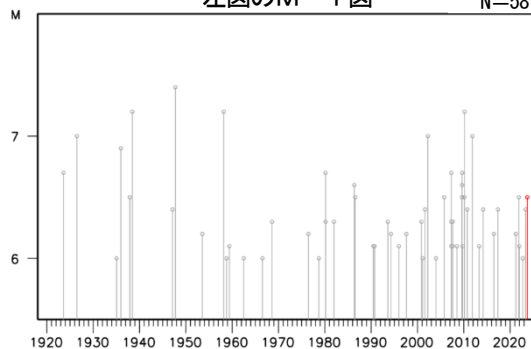
震央分布図

(1919年1月1日～2023年9月30日、
深さ0km～250km、 $M \geq 6.0$)

2023年9月の地震を赤色で表示



左図のM-T図



（この期間は検知能力が低い）

気象庁作成